

# INTERVALLO 幕間展

Exhibition INTERVALLO, intervals in-between art, fashion and design  
アート/ファッション/デザインのまぐあい。

2009年6月26日[金] - 8月2日[日] 11:30 - 19:00

BankART Studio NYK 3F 観覧料—一般600円(団体400円) 学生400円(団体200円) 高校生以下65才以上無料

さまざまなジャンルが融合したり、掛け算したりの楽しい表現が世界中で見られるようになっていきます。ベルリン、ロンドン、ミラノ3都市の3人のデザイナーが、横浜に集り展開するのはまさに2009年ならではの出来事。もの作りの基礎をファッション、インテリア、プロダクトの領域に置きつつそれはアートとしての面白さも生んでいきます。幕が開いている時のみ正しく座って舞台を見る、そんな堅苦しさを好まない、決まり切った形から離れて制作に向き合うことを願う彼女たちの展覧会のために、タイトルは幕間 <まぐあい> (英語のインターヴァル)、明るい気分でイタリア語の発音でインヴァッロとしました。ライフスタイルの1シーンから次のシーンへ続く創作、ジャンルとジャンルの間の仕事と考えることもできるでしょう。日常と非日常、服と衣装、ヌノとキレ、身体の回りから始まる表現がBankART Studio NYK3Fの大空間を彩ります。

## INTERVALLO 幕間 UNTERBRECHUNG --- INTERVALLO



26 June - 2 August 2009 BankART Studio NYK 26 Ju

### この展覧会によせて

なぜ女に大芸術家は少ないのか? とリンダ・ノックリンは問いを立てた。<sup>1)</sup> そのとおり。アートとクラフト、芸術と工芸が区別され、民芸、染織、デザイン、ファッション、インテリア、装身具などがすべて「芸術ではない」と定義されている限りは、「女に大芸術家は少ない」。「女のしごと」はそれだけで「芸術」から放逐されてきたのだ。神や王侯や美に奉仕するアートだけがアートではない。女の暮らしに、いのちに日々の歌びに奉仕してきたではないか。それがアートではないはずはない。女たちは、アートの概念そのものを変えようとしている。「幕間」はいずれ、芸術を神格化した幕そのものを引きおろすだろう。

上野千鶴子 (社会学者)

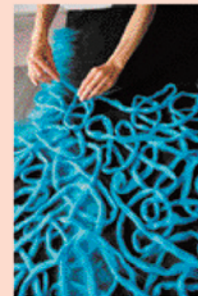
<sup>1)</sup> リンダ・ノックリン著「絵画の政治学」より

3都市でそれぞれ独特のもの作りをしているデザイナー3人が出会ってハッと思ったそうです。同じように考えて生きている仲間発見、つくることが生活すること一緒という信念。そして生まれたYOKOHAMAへのプロポーズです。同時発生的に3人がしてきたことは、身体というメディアから始まる創作で、生まれた表現はファッション、インテリア、インスタレーション、など。領域や業界を前提にしないで、既成の区分の合をすりぬげるような軽やかさで、創りつづけてきた3人の仕事です。人生のステージの幕間、生活時間の幕間、芸術と産業の幕間、いろいろな意味を主題にこめています。

小池一子 (本展企画者)

### クリスティーネ・ビルクレ (Christine Birkle)

ベルリン在住。1961年ドイツSchwabmünchen生まれ。ベルリンでファッションデザイン科に在学中より関心を持っていたフェルトに注目し、93年にHut upを設立。96年に初のファッション・コレクションを発表。99年パリでインテリア・ハウスプロダクトを含めたコレクションを発表。羊毛を伝統的な製法で加工し、フェルトの既存イメージを覆す、軽く、柔らかく、丈夫なプロダクトラインを確立してきた。やがてフェルトだけではなく、シルク、コットン、レースや麻といった異素材を組み合わせ、まったく新しい形態の製品を生み出すようになる。ドリス・ヴァン・ノッテンなどの他のデザイナーとのコラボレーション・ワーク多数、そして現代舞踏家サッチャ・ワルツの公演を支えるなど、衣装デザイナーとしての顔もある。



「おさるさん」表情とカラーの豊かさが特徴

フェルトの達人として知られるクリスティーネ。独自の製法で羊毛を操る。

### コロンバ・レディ (Colomba Leddi)

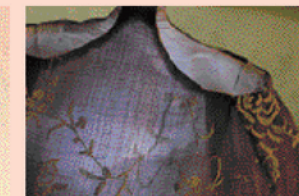
ミラノ在住。1980年代初頭、ファッションデザイナーの下でキャリアをスタートし、92年、ロメオ・ジリのデザイナーであったアダ・ルセナが主宰するグループFrammentiに参加。96年にはミラノのVia Revereの一角に自身のアトリエを構え、独自のスタイルで服作りを始める。顧客の嗜好とニーズに合わせて布地や色を決定し、しばしば一点ものの服を、伝統的な手法で、刺繍などの手業を入れ込んで作りあげていくその制作スタイルは、年々2回のコレクションのために回り続けるファッションデザイナー的なものではなく、むしろテイラーと言った方がいいかもしれない。ミラノ、ローマ、NY、カリフォルニアの有名セレクトショップでその作品が取り扱われているほか、舞台・映画の衣装デザイナーとしても活躍している。



作品のプレゼンテーションをさまざまに試みている。

### 和井内京子 (わいのないきょうこ Kyoko Wainai)

ロンドン在住。1958年神奈川県横浜生まれ。染織デザイン研究所で、インドリアルデザインと写真とを学ぶ。83年より株式会社サザビーズでバッグデザイナーとしてキャリアをスタート。86年同社を退職後は、フリーランスデザイナーとして様々なプロジェクトに関わる。92年にイギリス・ロンドンに拠点を移し、個人として、また他の分野のデザイナーとコラボレーションのかたちで、バッグ、インテリア雑貨を中心とした多様なコレクションを発表。本年4月に東京西麻布、ルベインギャラリーで行われた個展ではユニークなバッグ作品が好評を博した。パリ、ミラノでの展示会開催など、ヨーロッパを舞台に多様な活動を展開している。



透けて見えるテキスタイルを使ったバッグ。芯地が構造を支えている。

バッグデザインに人体との関わりを調査。からだによりそう、かたの立ち上がり。

▶ オープニングレセプション 6月26日[金] 19:00-21:00 琵琶演奏: 達坂富士

▶ トークセッション \*参加無料 ただし当日有効な展覧会チケットが必要です。Admission for the Artist Talks is included in the daily admission to the gallery.



6月28日[日]  
コロンバ・レディ  
(Colomba Leddi)  
16:00-18:00



7月5日[日]  
クリスティーネ・ビルクレ  
(Christine Birkle)  
16:00-18:00



7月18日[土]  
和井内京子  
(わいのないきょうこ Kyoko Wainai)  
16:00-18:00

### ▶ 関連イベント予告

7月4日[土] ライブミュージック 亀渕友香 & Her mates  
人々の現在を歌い続けるベテランが「幕間」展への共感を込めて特別参加。

7月25日[土] 巻きつけパフォーマンス 丸山 正  
布と人体の関わりを劇的に作り上げるきもの作家。  
横浜では初めての機会をBankART空間で。



▶ アクセス  
横浜みなとみらい線「馬車道駅」6出口  
[赤レンガ倉庫口]徒歩5分  
BankART1929 Office (BankART Studio NYK)  
〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9 Tel.045-663-2812  
Fax.045-663-2813 info@bankart1929.com  
http://www.bankart1929.com/  
http://www.makuaei.info/

## Exhibition INTERVALLO, intervals in-between art, fashion and design

BankART, Yokohama, is pleased to announce "INTERVALLO," a group exhibition at BankART Studio NYK 3rd Floor by three creative women from three European cities. Christine Birkle from Berlin has been mainly using felt material to create various fashion items, stage costumes and interior products. Colomba Leddi from Milan creates clothes which are the fruit of traditional manufacturing methods, handcraft techniques and her interest in different cultures. Her creative method is a departure from both conventional periodical presentations of the fashion industry and those of mass production systems. Kyoko Wainai, a Japanese creator based in London, has been producing a wide range of fashion products from tiny flowered evening bags to interior products using a choice of handmade materials from London, India, Japan and etc.

Date 26th June - 2nd August 2009  
Opening Hours 11:30 - 19:00  
Place BankART Studio NYK3rd Floor  
Address 3-9, Kalgan-dori, Naka-ku, Yokohama City, Kanagawa, Japan  
Admission Adults 600JPY / College & University Students 400JPY / High school & Junior High School & Adults over 65 Free  
Curator Kazuko Koike  
Organizer BankART1929  
Co-operation Masahiro Norimine, Geny Iorio, ita&co company  
Opening Reception 26th June 19:00-21:00 with Biwa performance by Takashi Ousaka  
Artist Talk 28th June Colomba Leddi  
5th July Christine Birkle  
18th July Kyoko Wainai

